**JST ベルモント・フォーラム共同研究公募「Towards Sustainability of Soils & Groundwater for Society（土壌と地下水の持続可能な社会利用をめざして）」日本側応募申請書**

**１．正式課題名**

　日本語：

　英　語：

　略称（Acronym）：

**２-１．日本側研究代表者（Lead PI or Co-PI）**

*※ 所属・役職は正式名称であることを確認ください。*

　日本語：　科学 太郎

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Taro KAGAKU

　英　語：　役職 部署名 組織名

　届け先住所：　〒

**２-２．相手側研究代表者-1（Lead PI or Co-PI）**

*※*必要に応じて代表者の項目を追加して下さい。

*※ 日本語表記は日本側研究代表者が作成のうえ必要に応じて相手側研究代表者へ確認してください。*

　日本語：　ジョー・サイエンス

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Joe SCIENCE

　英　語：　役職 部署名 組織名

**３．課題説明文**

*※ 日本語は****１文****、英語は****２文以内****で研究の対象と意義をまとめる。*

　日本語：　本研究は、・・について・・することで・・を目指すものです。

　英　語：

**４．課題概要**

*※ 日本語は****３５０字以内****、英語は****１０００字または１５０単語以内****でまとめる。非専門家でも読解可能な表現とし、図表を用いても構わない。*

　日本語：

　本研究は、・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・を行い、相手側チームは・・を行う。両国チームによる共同研究を通して・・が期待される。

　英　語：

＜以下は日本語のみ＞

**５-１．共同研究の背景**

*※ １００文字以内で、提案の社会的背景と学術的背景を含める。*

**５-２．共同研究の目的**

*※ １２０文字以内で、研究成果から将来もたされうる社会課題や人間生活へのインパクトを含める。*

**５-３．共同研究の達成目標**

*※ １２０文字以内で説明し、既存研究・技術などのベンチマークとの比較*を***図示****する。*

*※ ５-２の目的に照らして本研究で達成を目指す目標の位置づけを示す。*

**５-４．共同研究とする意義**

*※ 日本側と相手国側の強みを具体的に示すとともにそれらの相乗効果を説明する。*

*※ 両国各１２０字以内、相乗効果１２０字以内、合計３６０字以内＋図表（任意）*

*※ e-Radの研究目的欄へは5-2の内容を、研究概要欄へは4の内容を転記してください。*

**６．人権の保護および法令等の遵守への対応**

*※研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換え DNA 実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。*

*なお、該当しない場合には、その旨記述してください。*

*※法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について、各項目の該当／非該当を選択し、該当の場合はその内容と対策について適宜、貴機関担当者に確認の上、記入してください。（「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」のP4を参照ください）*

|  |  |
| --- | --- |
| **法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応　（ 研究代表者　記入用チェックリスト ）** | |
| （１）安全保障貿易管理に対する取組を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を、簡潔に記入のこと。） |
| （２）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合、その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Aに記入する。） |
| （３）生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Aに記入する。） |
| （４）人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （４－１）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （５）社会的・倫理的配慮を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （６）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Bに記入する。） |

|  |  |
| --- | --- |
| **〔詳細A〕**  **遺伝資源などの取扱いについての検討状況**  ※相手国の研究機関、研究者との協議、許可申請、手続き状況を含めてご記載ください。 | **＜研究用試料（遺伝資源を含む）の国内外への持ち込み、持ち出しの有無＞**  －－－－－  **＜上記で”有り”の場合、生物の多様性に関する条約の遺伝資源の取得の機会及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分（ABS）に関する名古屋議定書（略称「名古屋議定書」）への対応状況＞**  －－－－－  **＜海外から国内に生物試料を取り寄せる場合、病原性を有する生物試料を取り寄せるなど植物防疫法等への対応状況＞**  －－－－－  **＜日本国内において、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）への対応状況、第一種使用、第二種使用、所属機関の承認状況、大臣確認実験に該当もしくは非該当など＞**  －－－－－ |
| **〔詳細B〕**  **MTA、知的財産等の取扱いについての検討状況**  ※相手国の研究機関、研究者との協議、契約、手続き状況をご記載ください。 | **＜知的財産権、秘密保持契約、MTA （Material Transfer Agreement（物質移動合意書）などに関する取り扱い＞**  －－－－－ |

**上記のとおり相違ありません。**

平成　　年　　　月　　　　日

（所属機関名）

（所属部署）　　　　　　　　　（役職名）

（氏名）

安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催し承認を得る旨の確認書を、申請書とともにJSTに提出してください。やむをえない事情などにより、確認書の提出が公募締切に間に合わないと見込まれる場合は、事前に[belmont@jst.go.jp](mailto:jointuk@jst.go.jp)までお問い合わせください。

令和　年　月　日

**確認書**

国立研究開発法人科学技術振興機構　御中

　　 （研究代表機関）

　 機関名

機関長名 　　公印

ベルモント・フォーラム事業に提案する下記の研究提案が採択された場合、研究実施にあたり、安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて機関内等の倫理委員会を開催して承認を得ることを研究機関の責任として確認します。またそれらのための適正な管理を行う環境や体制を整えます。

記

○提案課題名　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究代表者　　　　　所属部署

役　　職

氏　　名